

# 美桑が丘

校訓『創造敬愛』

下川町立下川中学校  
令和7年度学校だより  
第6号 R7. 9. 30発行

## 目標をもって生活できる人になることを願って

校長 越 湖 憲 治

去る9月6日(土)に本校学校祭を無事終了することができました。保護者、地域の皆様には子どもたちの活躍がどのように届いているのでしょうか。私は生徒の取組を毎日の学校生活の中で見ている分、その変化を感じましたし、そのことによる何とも言えない感情が自分の中に沸き起こっていたことを思い出します。また、事後の振り返りでは学校祭を通しての成長を9割以上の生徒が感じていたことは嬉しいことでした。

ではなぜそのような成果に繋がったのか、私なりに考えてみました。①演劇・イベント・映像制作・装飾の活動班が個の興味や強みを活かしたこと、②下中オンステージやイベント等で個を表現することができたこと、③全校合唱等で一つのものに向かえたこと、④学年の枠を超えた生徒同士の受け入れの土壌が培われていたこと、⑤学校祭の創造に向けた生徒と教師の距離感が適切な目標設定に繋がったことなどが挙げられるかと思えます。

その中で③の全校合唱を一例に紹介します。合唱は生徒にとって必ずしも関心事や得意分野とは限らないかもしれませんが、この取組からは次のような生徒の声を聞くことができました。

- ・練習時間が少なかったけど、指揮を見てリズムを取れた。
- ・去年よりも声が出ていたし、サビの前のクレッシェンドが個人的には良かったと思う。
- ・結構大きな声で歌えた。楽しかった。
- ・そこそこ全力で歌えたけど、練習の時のほうがうまく歌えたと思う。
- ・声量も音程もいい感じだったと思う。何より楽しかった。
- ・今までよりなんかみんな声出てて団結した感じが伝わってきた。
- ・本番前日の練習だといいい声が出ていたけど、本番になると緊張感がすごかったけどやり切ったと思う。  
(生徒振り返りより一部抜粋)

上記の言葉からは、「限られた中での精一杯」「過去の自分と比較した評価」「取組を振り返った的確な反省」「取組の先に見えてきた素直な気持ち」などを読み取ることができました。これこそが『成長』だと私は思っています。

学校生活も後半に入ります。成果として取り上げた合唱でも個々の歌声には当然差があります。しかしながら、伸びの大きさは違っても皆、成長しているのは確かだと思っています。それは、仲間の影響を受けながら、自然と自分なりの目標をもつようになっていると考えられます。自分自身を見つめ、成長させるための仲間を見つけることで自分を前進させる確かな目標設定に繋がると改めて認識できたように思えました。



8月29日(金)大学生と2年生が進路を話題に交流！



8月31日(日)うどん祭りで吹奏楽部が演奏！

# 学校祭だよ！全員集合～We can fly～笑顔に乗せて

9月6日(土)に学校祭を行いました。この行事では、自主的な活動を通して1人ひとりが積極的に取り組んだり、互いを認め合う中で高め合ったりすることをねらいとしています。

## ■縦割り班活動

当日に向けて、演劇班、イベント班、映像制作班、装飾班の4つの活動班から全校生徒1人ひとりが自分の得意や好みを活かせるものを選択して準備を進めてきました。この縦割り活動の中で、後輩を引っ張って充実した内容にするためにリーダーシップを発揮したのは3年生です。各班のリーダーが閉会式で後輩に向けて、「来年はさらに面白く、楽しい学校祭にしてほしい」と想いを伝えていました。

映像制作班



演劇班



装飾班発表



イベント班

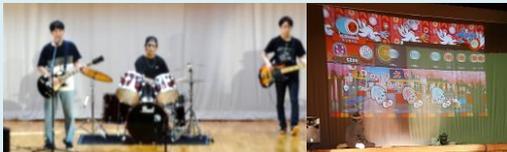


各班リーダーの挨拶



## ■下中オンステージ

全校生徒から参加を募り、ダンスや歌唱、バンド、お笑いなど、好きなことを発表します。今年は7組が参加し、会場を盛り上げました。



## ■吹奏楽部演奏

「愛のしるし」「フィンガー5コレクション」の2曲を披露し、会場の皆さんから大きな拍手をいただきました。



## ■係活動

会場・展示係は、各教科作品を1階廊下に展示し、多くの方々に観ていただきました。照明・音響係は、ステージの進行に合わせてBGMやスポットライト、会場照明の操作などでプログラム進行を支えていました。



## ■全校合唱

全校生徒が集中して一音一音に思いを込め、真剣な表情で合唱曲「空も飛べるはず」を歌い、会場の皆さんの拍手に包まれました。



学校祭全体を振り返ったアンケートでは、9割以上の生徒が自分の成長を肯定的にとらえていました。また、学校祭の準備や取組を通して成長を実感できた場面や自分の新たな一面を発見することができたなどの具体的な記述がたくさん見られました。このことから、縦割り活動によって異学年交流が活発となり、学校祭を成功させるために協働して取り組むことで、生徒たちが充実感や達成感を味わう機会となったと言えます。

来場していただいた保護者、来賓、地域の皆様、ありがとうございました。

# 自らの安全を確保するために

## ■北海道シェイクアウト訓練参加

防災の日である1日(月)、北海道が、描き企業や団体などに参加を呼びかけている訓練に本校も参加しました。この訓練は、地震発生時の安全確保行動を身につけるために一斉に行うものです。

## ■着衣水泳体験(1年生)

2日(火)3、4時間目、1年生が水難事故に巻き込まれた際の対応を学びました。生徒たちは水を含んだ衣服は重くなり泳ぎにくくなることを実感し、ペットボトルやクーラーボックスをつかんで浮きながら救助を待つことを体験しました。



着衣水泳体験

## ■1日防災学校(2・3年生)

3日(水)3、4時間目、1日防災学校を下川小を会場に行いました。

まず、5年生児童と中学2年生は、下川消防署の方とAED・心肺蘇生体験、下川町役場町民生活課の方から簡易ベッド設置を教わりました。6年生児童と中学3年生は、谷組の方から土嚢作成、下川町教育委員会の本間莉恵さんやインターン生から段ボールトイレ製作など教わりました。その後、断水時の状況を振り返り、日常から備えることや心がけについて、小中児童生徒の縦割り対話活動を通して考えました。



簡易ベッド設置



AED体験



土嚢づくり



段ボールトイレ作成

## ■秋の避難訓練

17日(水)5時間目の訓練は、授業中に地震が発生したことを想定して行いました。全員が冷静に指示に従って身を守り、迅速に行動して2分57秒で避難を完了しました。避難後は、生徒玄関にて煙体験をしました。

お世話になった下川消防署の皆様、ありがとうございました。

9月は「防災月間」として生徒が自助、共助、公助の視点から安全に関する資質・能力を確実に育む機会として、関係機関や地域の方のご協力を得て、上記の4つの取組を実施することができました。ありがとうございました。



小中の縦割り対話活動

## ■性に関する授業

講師に吉田征子助産師をお招きし、11日(木)に「性に関する授業」を行いました。

1年生は「命の誕生」について、2年生は「人との関わり」について学びました。

命の尊さについて考え、自他の健康で安全な生活づくりに配慮しようとする態度を養う機会となりました。

3年生は、1月に実施予定です。



## ■後期生徒会役員選挙

24日(水)に立会演説会・選挙が行われました。後期の活動は、3年生から1・2年生へと中心を担う学年が交代します。今回はすべての役職が無投票当選でした。新役員の皆さんはもちろん、生徒全員で生徒会活動を盛り上げていきましょう。

### 【生徒会後期役員】

会長 黒川 愛美  
副会長 大池 いおり  
書記長 竹本 祐那  
書記次長 山本 琥珀  
会計 水間 空汰

### 【常任委員長】

生活 塩田 花音  
保体 藁島 樹一郎  
図書 工藤 昇馬  
報道 池田 愛希



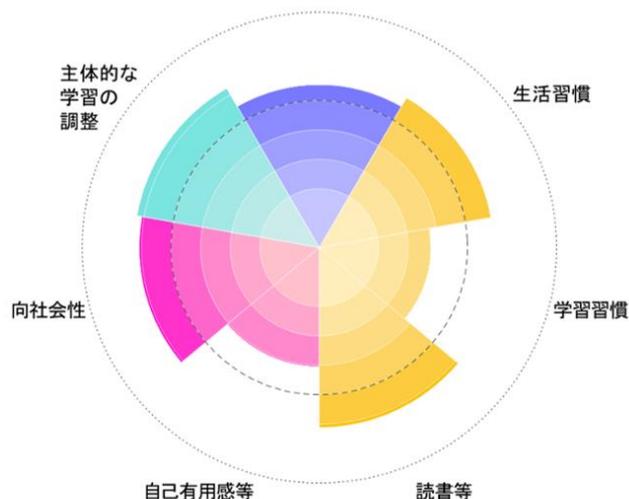
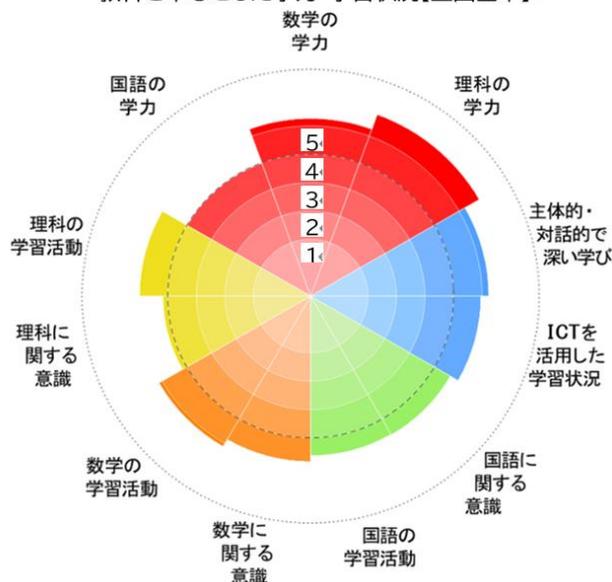
後期生徒会役員選挙の様子

## ■全国学力・学習状況調査結果について

### 【全国と比較した下川中の結果チャート】

教科を中心とした学力・学習状況【全国基準】

その他の学力・学習状況(学習習慣、自己有用感等)【全国基準】



### 【結果分析】

上のチャートは、全国を基準として本校の IRT バンドを項目ごとに表したものです。IRT バンドは、右の表のようになっており、数字が大きければ大きいほど成績がよいと捉えることができます。

学力については各項目で上位層以上となっており、無回答率も低かったです。特に各教科に関する学習活動、主体的・対話的で深い学び、ICT を活用した学習状況が高いことから、本校で行っている教育活動の効果を生徒たちも実感していると考えられます。また、数学科における正答率が60%と全道・全国平均を11%以上上回り、今年度も実施している数学科の少人数指導及びTTによる複数体制でのきめ細かな指導を目指してきた成果と言えます。

その他の学力・学習状況について見てみると、学習習慣や自己有用感等の項目が他の項目に比べて低かったです。学習習慣については、平日は「全く勉強しない」または「30分より少ない」と回答した生徒の割合が30%になっています。休日になると「全く勉強しない」または「1時間より少ない」とした回答の割合は65%で、いずれも全国・北海道の平均よりも高いです。また、自己有用感について具体的に見てみると、特に「学校に行くのは楽しいと思いますか」が40%、「友達関係に満足していますか」が25%と否定的回答の割合がいずれも全国平均より高かったです。

### 【課題に対する改善の方針】

結果分析を受けて本校では、「①学習習慣の向上」と「②自己有用感を高めること」を課題とし、その改善に向けて各学年、各教科等で以下のような取組をまいります。

#### ① 学習習慣の向上について

- ・各教科で工夫して授業と家庭学習のつながりを図り、効果的な家庭学習の取組を生徒たちに紹介していく。
- ・生徒たちが手書き手帳を効果的に利用して、自分の生活を見直すことによって家庭学習の習慣化を図る。

#### ② 自己有用感を高めることについて

- ・各教科の授業で、生徒たちが単元・教材の見通しをもち、協同する場面を通して課題解決を図り、自らの学びを振り返ることができるようにし、意欲の高揚を図っていく。
- ・各種行事での活動や生徒会活動など、様々な場面で生徒たちが同級生や先輩・後輩等の仲間同士でお互いに認め合えるような機会を増やす。

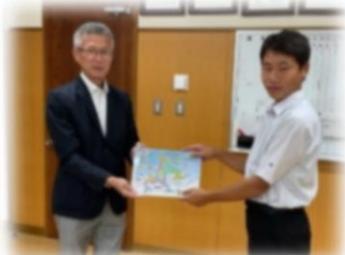
IRTバンド	意味
5	最上位層
4	上位層
3	中位層
2	下位層
1	最下位層

## ■谷組様、ありがとうございます

9月4日(木)、谷組様より北海道地図の寄付をいただきました。ラミネートされた地図(A4版・全校生徒分)です。

生徒を代表して書記局の佐藤大翔さんが受け取りました。将来人口予想が掲載されています。

ご家庭でもぜひ、ご覧ください。



## 10月の予定

- 1日(水) 着任式、全校朝会、後期認証式、安全点検日、常任委員会
- 2日(木) 上教研北部地区研究大会
- 3日(金) 英語検定、栄養教諭来校日
- 7日(火) 常任委員会、芸術鑑賞会
- 8日(水) 職場体験(2年)、学力テスト(3年)
- 10日(金) 社会見学(1年生)
- 14日(火) 職員会議
- 16日(木) 後期生徒総会
- 20日(月)~24日(金) 教育相談
- 27日(月) 校内研修、諸費納入日